

明治8年(1875年)開校 令和6年(2024年)150年目

日奈久っ子

つながる
守る
日奈久



八代市立日奈久小学校
学校便り 第11号
令和6年11月1日発行
文責 村山

笑顔いっぱい やる気いっぱい 元気いっぱい

あいさつのよさ

2学期の取組では、日奈久小「あいさつバージョンアップ大作戦」を行っています。

5の”S”を意識して、一人一人ができるところから取り組んでいます。

10月の全校集会にて、「あいさつのよさ」

という本から、子供たちに「あいさつをするとどんなよいことがあるか」について話をしました。

あいさつ5S作戦

- ①立ちどまって (STOP)
- ②笑顔で (SMILE)
- ③明るく、元気に (SPARK)
- ④お先に (SPEED)
- ⑤心をこめて! (SPIRIT)

あいさつのよさ

①心のつながりをつくる。

おたがいの存在(そんざい)をみとめあう。しんらい関係ができる。

あいさつのよさ

②明るい温かなふんいきが つくれる。

明るく楽しい学校や学級がつくれます。

あいさつのよさ

③コミュニケーション力が つく。

社会性が身につく。将来、大人になって役立つ。

あいさつのよさ

④ゆう気と自信(じしん) がつく。

新しい場所でも自分から声をかけて、新しい友達などをつくることできる。

「あいさつ」を学級のめあてにしたり、あいさつがんばりシートを作ったりする学級もあり、子供たちから気持ちのよいあいさつがあります。

先日、1年生の教室に行った際に、笑顔でお辞儀をしながら丁寧にあいさつをしてくださいました。

私も心が温かくなり、子供たちを褒めることにもなりました。あいさつを学校だけでなく、家庭や地域でもどんどん取組を広げて行ってほしいと思います。

私も地域の方から「子供たちが、いつもあいさつをしてくれてうれしいです」と聞くことができます。子供たちが「あいさつ」で地域を更に元気にできればと願っています。継続して取組を続けていきたいと思っています。

修学旅行・集団宿泊教室

10月は、6年生の修学旅行、5年生の集団宿泊教室がありました。どちらも有意義な活動でした。

6年生の修学旅行は、1日目が平和学習、2日目は、ハウステンボスでの班別行動となります。

12人の6年生は、原爆被害にあった方のお話や長崎市内のフィールドワーク、原爆資料館の見学など、自分事として考えて学習していました。



2日目のハウステンボスは、事前に班で考えた行程で動きながらも状況を見て、うまくスケジュールを変更して、アトラクションなどを楽しんでいました。



5年生は、1日目は水俣市での環境学習、2日目があしきた青少年の家での学習となります。

5人の5年生は、環境センターで、水の実験をしたり、水俣病患者の語り部さんの講話を聞くなど環境問題と水俣病患者の方が受けた差別などができました。



1日目夕方から、あしきた青少年の家に宿泊しました。2日目は他校の小学生とカヌーに乗るなど、体験と交流を行うことができました。



5, 6年の保護者様には、準備等たいへんお世話になりました。